

症例掲載施設紹介

国際医療福祉大学市川病院 糖尿病・代謝・内分泌内科

当院は「矢切の渡し」で有名な北総線矢切駅から徒歩3分の小高い丘の上に立地し、市川駅や松戸駅から、共にバスで15分程度の場所に位置しています。元々、1939年に結核の化学療法研究を目的に設立された化学療法研究所附属病院を母体に、2017年9月より国際医療福祉大学の5つ目の大学附属病院として再出発しました。

病床数260床と規模は小さいものの、25診療科を有し、他科との連携も積極的に行っています。特に手術や結核治療、人工透析等で入院した患者において、当科に関わる疾患が多く併存し、原疾患の診療と並行して糖尿病をはじめとした当科関連疾患の診断・治療を行っています。

2017年度の当科の診療実績は、外来患者3,197名（延べ人数）、入院患者244名（延べ人数）で、2017年3月に初めて当診療科が開設された後、毎月1回、糖尿病教室を開催しています。看護師・管理栄養士・理学療法士・薬剤師・検査技師等の医療スタッフと連携しながら、多

職種による講義、運動の実践、血糖測定、インスリン自己注射体験ならびにフットケア等の多彩な内容を盛り込み、毎回10名前後の患者に参加していただいております。

スタッフは、糖尿病専門医3名（うち指導医2名）、内分泌専門医・指導医1名、老年病専門医・指導医1名、動脈硬化専門医・指導医1名を含む、2名の常勤医と1名の非常勤医です。また、日本糖尿病学会認定教育施設、日本動脈硬化学会認定教育病院に認定されており、専門医取得を目的とした後期研修も可能です。

当大学では、2017年4月より、国際性を重視した医師の育成を目指し、成田キャンパスに新たに医学部を開設し、1学年あたり20名の留学生（東南アジア各国政府・大学から推薦されたトップクラスの学生も在籍）を含む140人の医学部生が学んでおり、2018年に第2期生が誕生しました。今後、臨床実習等で当院をはじめとする附属病院・関連施設で学ぶことになります。



国際医療福祉大学市川病院
糖尿病・代謝・内分泌内科（糖尿病教室チーム）

ホームページ

<http://ichikawa.iuhw.ac.jp/index.html>

文責：国際医療福祉大学医学部糖尿病・代謝・
内分泌内科 准教授
国際医療福祉大学市川病院糖尿病・
代謝・内分泌内科 副部長
吉田 知彦